

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 4 日 (2021.11.4)

【公表番号】特表 2020-534880 (P2020-534880A)

【公表日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【年通号数】公開・登録公報 2020-049

【出願番号】特願 2020-509109 (P2020-509109)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/007 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

送達装置用の先端であって、可撓性エンベロープ 101 を含み、前記可撓性エンベロープ 101 が、内腔 104 を画定することを特徴とする先端。

【請求項 2】

前記送達装置が、インプラントを関心のある身体部位に送達するように構成されている請求項 1 に記載の先端。

【請求項 3】

前記インプラントが、網膜インプラントである請求項 2 に記載の先端。

【請求項 4】

前記内腔 104 が、拡張可能な断面によって特徴付けられる請求項 1 から 3 のいずれかに記載の先端。

【請求項 5】

前記拡張可能な断面が、非拡張状態にあるときに前記内腔 104 内にインプラント 600 を保持するように選択される請求項 4 に記載の先端。

【請求項 6】

前記内腔 104 内に移動可能に配された内部摺動部材 102 を更に含む請求項 1 から 5 のいずれかに記載の先端。

【請求項 7】

前記内部摺動部材 102 が、前記内腔 104 の長さに沿って長手方向に移動可能である請求項 6 に記載の先端。

【請求項 8】

前記内部摺動部材 102 が、金属を含む又はからなる請求項 6 から 7 のいずれかに記載の先端。

【請求項 9】

前記内腔 104 が、それを通る前記内部摺動部材 102 の寸法に適合することができる請求項 6 から 8 のいずれかに記載の先端。

【請求項 10】

前記可撓性エンベロープ 101 が、

(1) ポリテトラフルオロエチレン (PTFE) ; ポリウレタン、ポリエチレン、ビニー

ル、発泡ポリテトラフルオロエチレン（e P T F E）；シリコン；又はその他の材料から任意に選択される少なくとも1つの可撓性の材料を含む又はからなる；

（2）透明又は半透明である；及び／又は

（3）少なくとも約0.1mm、0.2mm、0.3mm、0.4mm、0.5mm、0.6mm、0.7mm、0.8mm、0.9mm、又は1.0mmの壁厚を有する請求項1から9のいずれかに記載の先端。

【請求項11】

前記可撓性の材料が、成体適合性の材料である請求項10に記載の先端。

【請求項12】

前記可撓性エンベロップ101が、約0.5mmの壁厚を有する請求項10から11のいずれかに記載の先端。

【請求項13】

前記拡張可能な断面が、少なくとも約1mm、1.1mm、1.2mm、1.3mm、1.4mm、1.5mm、1.6mm、1.7mm、1.8mm、1.9mm、2.0mm、2.1mm、2.2mm、2.3mm、2.4mm、2.5mm、2.6mm、2.7mm、2.8mm、2.9mm、又は3.0mmの拡張可能な直径又は幅を有する；及び／又は少なくとも約0.1mm、0.2mm、0.3mm、0.4mm、0.5mm、0.6mm、0.7mm、0.8mm、0.9mm、1.0mm、1.1mm、1.2mm、1.3mm、1.4mm、1.5mm、又はそれ以上の拡張可能な高さを有する請求項4から12のいずれかに記載の先端。

【請求項14】

前記拡張可能な断面が、約1.5mm～2.0mmの拡張可能な直径又は幅を有する請求項13に記載の先端。

【請求項15】

前記拡張可能な断面が、少なくとも1%、2%、3%、4%、5%、6%、7%、8%、9%、10%、11%、12%、13%、14%、15%、16%、17%、18%、19%、20%、又はそれ以上、拡張可能である請求項4から14のいずれかに記載の先端。

【請求項16】

インプラントを関心のある身体部位に送達するように構成された形状を有する請求項1から15のいずれかに記載の先端。

【請求項17】

インプラントを関心のある身体部位に送達するように構成された形状が、湾曲した形状である請求項16に記載の先端。

【請求項18】

その遠位端に開口部103を更に含む請求項1から17のいずれかに記載の先端。

【請求項19】

前記内腔104が、楕円形の断面形状を含む請求項1から18のいずれかに記載の先端。

【請求項20】

前記楕円形の断面形状が、2つの対向する尖った角を有する楕円形の断面形状である請求項19に記載の先端。

【請求項21】

前記内腔104が、第1の高さを有する少なくとも第1の部分と、前記第1の高さよりも小さい第2の高さを有する少なくとも1つの他の部分とを含む断面形状を含む請求項1から20のいずれかに記載の先端。

【請求項22】

前記第1の部分が、前記摺動部材102を受容するための第1のキャビティを提供している請求項21に記載の先端。

【請求項23】

前記第２部分が、前記インプラント６００を保持、位置決め、及び／又は案内するようになっている請求項２１から２２のいずれかに記載の先端。

【請求項２４】

請求項１から２３のいずれかに記載の先端１００を覆うためのキャップ。

【請求項２５】

前記先端１００の遠位端の前記開口部１０３を封止するための請求項２４に記載のキャップ。

【請求項２６】

送達装置用のインサータアタッチメントであって、請求項１から２３のいずれかに記載の先端と、任意に、前記先端に着脱可能に取り付けられた請求項２４に記載のキャップと、任意に、前記インサータアタッチメントを前記送達装置に取り付けるための係合手段とを含むことを特徴とするインサータアタッチメント。

【請求項２７】

送達装置を組み立てるための、請求項１から２３のいずれかに記載の先端又は請求項２６に記載のインサータアタッチメントの使用。

【請求項２８】

ハウジング３０２、係合手段、及び作動手段を備えたハンドピース３０１と、請求項２６に記載のインサータアタッチメント２００とを含むことを特徴とする送達装置。

【請求項２９】

前記作動手段が、レバー３０３からの作動をインサータアタッチメント２００の内部摺動部材１０２に変換するように構成されている請求項２８に記載の送達装置。